

2025年ソロ競技：ラテン課題フィギュアについて  
種目 PASO DOBLE

2024年12月28日  
2025年1月20日更新

PASO DOBLE 課題フィギュア(22小節)

課題 No.	フィギュア No.	課題フィギュア	タイミング (女子のタイミング)	男子の終わりのアラインメント
<b>男子 壁に背面して始める</b>				
1	1	シャッセ・ケープ (プレス・ラインで終わる)	1234 & 5678 & 1234 & 5678 &a <u>1234</u>	LODに面して終わる
	2	シャッセ・ケープ・エンディング 3 (ステップ 4 はプロムナード・ホールド、ステップ 5 はノーマル ホールド)	56&78	中央に面して終わる
2	3	シャッセズ・トウ・ライト (右へ1/4回転)	1234	<b>新LODの壁に面して終わる</b>
	4	トラベリング・スピinz・フロム・プロムナード・ポジション <b>※シンコペーテッド・アペルを使用</b>	a <u>12345678</u>	壁斜めに面して終わる
3	5	スパニッシュ・ラインズ の 1 – 4	1234	壁斜めに背面して終わる
	6	フラメンコ・タップス <b>※3回のタップをする</b>	5&6&78	壁斜めに背面して終わる

- No.1 ステップ24は使用せず、ステップ23を3拍とりプレス・ラインで終わる  
 No.3 エレベーション（アップ/ダウン）やスウェイは変化しても良い  
 No.4 aカウントでステップ1のアペルを踊る。続くステップ2はカウント「1.2」を使用する  
 No.5 ステップ3-4は、ホールドなし、または、左手と右手のホールド（レベル1）も可とする

**Up Gradeによる加点**

課題2を以下のように変更して演技した場合、課題2のBVはUp Grade(+0.5点) とする

2	3	シャッセズ・トウ・ライト (右へ1/4回転)	1234	<b>新LODの壁に面して終わる</b>
	4	トラベリング・スピinz・フロム・プロムナード・ポジション <b>※シンコペーテッド・アペルを使用</b> <b>(4 – 5で女子は、2歩追加してコンティニュアス・スピn・アクションを踊る、タイミングは4&amp;5&amp;)</b>	a <u>12345678</u> (a <u>1234&amp;5&amp;678</u> )	壁斜めに面して終わる

- No.4 2回のコンティニュアス・スピn・アクションの後、カウント7は通常のスパイラル・ターンで踊る

**欠点判定の対象となる項目**

教本の項目の内、「カップル・ポジション」、「リード-ホールド,シェイピング」、「足の位置」、「フト・アクション」が正しくない場合は欠点として判定されます。上の表の**※印の指定内容が指示通りでない場合**や示しているアラインメントから大きく外れた場合、「Wrong Step」として欠点判定されます。

**PASO DOBLE 課題フィギュア注意事項**

- 課題フィギュアは、**イントロ4小節(8拍)後の5小節目より**、上記の順番通りに3つの課題グループを連続して演技して下さい。課題フィギュアを終了した後のフィギュアの指定はありませんので、自由なコリオグラフィーを続けて踊って下さい。
- 課題1の前に、概ねイントロに収める範囲内であれば、導入のためのステップや振り付けを踊ってもかまいません。**PASO DOBLEの曲は「España cañí」**を使用します。
- 課題フィギュアの詳細は「WDSFダンススポーツ教本」のテキストを確認してください。教本DVDも参考にしてください。
- 演技方法は上記の表に従うものとし、「カップル・ポジション」、「リード-ホールド,シェイピング」、「足の位置」、「フト・アクション」などフィギュアの本質的特長を崩さない範囲であれば、**ヒップ・デザイン、ヒップ・マスクュラー・アクション、ボディマスクュラー・アクション(スウェイを除く)はテキストと一致していないても表現のために変化させることは認められます。**(指定がある場合を除く)
- タイミングは基本的なタイミングを記載しています。**シャッフル・タイミングやその他音楽表現のためにタイミングを変化させることは自由です。**(指定がある場合を除く)  
但し、各課題フィギュアグループ（課題No.単位）の小節数は厳守してください。またステップ数も変化させないでください。
- 決勝ソロ競技の演技時間は、**第2ハイライトまで**とします。
- 決勝ソロ競技の曲はヒートごとに変わりますが、小節数の基本的な構成は原則として同じものを使用します。
- 絶対評価審判方式では、曲がかかっている間を演技時間とし、踊る必要のないイントロ部分であっても演技としてプレゼンテーション等の評価対象となり、バランスを崩す等の欠点があれば減点の対象となります。

## 種目 VIENNESE WALTZ

## VIENNESE WALTZ 課題フィギュア(20小節)

課題 No.	フィギュア No.	課題フィギュア	タイミング (女子のタイミング)	男子の終わりのアラインメント
男子 中央斜めに面して始める				
1	1	ナチュラル・ターン (2回繰り返す)	123 123 123 123	中央斜めに面して終わる
	2	ランニング・フェザー <b>※ステップ2,3は男子右スウェイ</b>	<u>123</u> <u>123</u>	中央斜めに面して終わる
	3	コンティニュアス・スピニ	<u>123</u>	中央斜めに面して終わる
	4	ルドルフ・フォーラウェイ (コーナー付近で)	<u>123</u> <u>123</u>	<b>新LOD</b> に面して終わる
2	5	リバース・ピボット	<u>123</u>	LODに面して終わる
	6	リバース・ターン	123 123	LODに面して終わる
	7	ダブル・リバース・スピニ・オーバースピニ	123 <u>123</u> (12&3 123)	LODに面して終わる
3	8	チェック・フロム・リバース・トウ・ナチュラル・フレッカール <b>※2小節使用する</b>	123 123	逆壁斜めに面して終わる
	9	ナチュラル・フレッカール (2回繰り返す) <b>※回転量は右へ3回転以上</b>	123 123 123 123	次のフィギュアのアラインメントによる

No.1 回転量を減らしてコーナーを通過して踊っても良い

No.4 ロンデの間、女子の右足は床から離れて良い

No.8 ステップ1のアラインメントは「中央斜めに面して、トウを外側に向けて」

No.8 2小節使用して3歩のステップを踊る、2小節内でのタイミングは問わない

課題2-3 課題2(No5-7)は概ね中央斜めに向かって進行し、課題3(No8-9)をフロア中央エリアで踊る

但し、フロア面積と移動距離の都合で課題2のダイレクションを微調整をしてもよい (1/8未満)

## Up Gradeによる加点

課題2を以下のように変更して演技した場合、課題2のBVはUp Grade(+0.5点) とする

	5	リバース・ピボット	123	LODに面して終わる
2	6	ダブル・リバース・スピニ・オーバースピニ	<u>123</u> <u>123</u> (12&3 123)	LODに面して終わる
	7	ダブル・リバース・スピニ・オーバースピニ	123 <u>123</u> (12&3 123)	LODに面して終わる

## 欠点判定の対象となる項目

教本の項目の内、「カップル・ポジション」、「足の位置」、「フット・アクション」が正しくない場合は欠点として判定されます。上の表の**※印**の指定内容が指示通りでない場合や示しているアラインメントから大きく外れた場合、「Wrong Step」として欠点判定されます。

## VIENNESE WALTZ 課題フィギュア注意事項

1. 課題フィギュアは、イントロ終了直後の小節より、上記の順番通りに3つの課題グループを連続して演技して下さい。

課題フィギュアを終了した後のフィギュアの指定はありませんので、自由なコリオグラフィーを続けて踊って下さい。

2. 課題1の前に、概ねイントロに収める範囲内であれば、導入のためのステップや振り付けを踊ってもかまいません。

VIENNESE WALTZ はイントロ8小節の曲を使用します。

3. 課題フィギュアの詳細は「WDSFダンススポーツ教本」のテキストを確認してください。教本DVDも参考にしてください。

4. 演技方法は上記の表に従うものとし、「カップル・ポジション」、「足の位置」、「フット・アクション」などフィギュアの本質的特長を崩さない範囲であれば、**スウェイ、エクステンション、ヘッドのポジションはテキストと一致していないなくても表現のために変化させることは認められます。**(指定がある場合を除く)5. タイミングは基本的なタイミングを記載しています。**シャッフル・タイミングやその他音楽表現のためにタイミングを変化させることは自由です。**(指定がある場合を除く)

但し、各課題フィギュアグループ（課題No.単位）の小節数は厳守してください。またステップ数も変化させないでください。

6. 決勝ソロ競技の演技時間は、イントロを含めて**約1分30秒**とします。

7. 決勝ソロ競技の曲はヒートごとに変わりますが、小節数の基本的な構成は原則として同じものを使用します。

8. 絶対評価審判方式では、曲がかかる間を演技時間とし、踊る必要のないイントロ部分であっても演技として

プレゼンテーション等の評価対象となり、バランスを崩す等の欠点があれば減点の対象となります。